

国際交流研修事業で現地学生と交流



かたおし じゆにんい ごかんりせんか がっこう
 高雄市 樹人醫護管理專科學校の生徒と

平成26年1月7日から11日までの5日間、国際交流研修事業（この事業は町の未来を拓く人づくり推進事業補助金を活用して実施しました）で、和寒中学校2年生26名が台湾へ研修、現地の学生との交流をおこない、生活や文化の違いに触れ、貴重な体験をしてきました。

参加者を代表して佐藤和也さんの感想を掲載します。参加者全員の感想文集は公民館で閲覧することができます。

また、この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて実施しています。

○研修参加者

市村 祐弥くん	井戸川龍也くん	大野 響希くん	加藤 貴久くん	兼丸 拳哉くん
酒井 卓斗くん	佐藤 和也くん	須賀 大志くん	中澤 蒼空くん	渡辺 勇志くん
山口 裕輝くん	伊藤 晴香さん	今北 愛梨さん	海端 夏光さん	加藤 梨瑚さん
小林 明莉さん	合田 朋美さん	後藤 華さん	佐々木 凜さん	佐藤 葉月さん
須藤 彩奈さん	高原 未来さん	富樫 美結さん	松村はるかさん	村岡 董さん
諸戸里香子さん				

国際交流研修事業に参加して

佐藤 和也

私は冬休みの5日間、国際交流研修で台湾に行きました。台湾には、日本には無い食べ物や文化などがたくさんありました。

その中でも特に印象的だったところがあります。

一つ目は、2日目に行った台北二二八和平記念公園です。この記念公園では台湾で過去におこった残酷な事件についてのさまざまな資料が展示されていました。その事件の被害者の中には日本人もあり、とても大きな事件ということが分かりました。次に行った中正紀念堂では、入口から入ってすぐ大きな階段があり、この階段を登ると長生きすることが出来るそうです。階段を登ると蒋介石の銅像がありました。この銅像はアメリカの大統領リンカーンをまねているそうです。そして、この中正紀念堂は1時間に1回、兵隊を交代する儀式があります。式は約10分おこなわれ、その様子を見て台湾の人はとても大変だなあと思いました。

二つ目は、今回の国際交流研修で一番楽しみにしていた樹人醫護管理專科學校の生徒のみなさんとの交流です。交流では指の模型を作ったり、粘土を使い貯金箱を作りました。貯金箱を作っているとき生徒のみなさんと会話をしました。外国の人との会話はうまくいかない部分もありましたが、何とか会話することができました。また、同じ学校の生徒のかたと台湾の町を観光しました。台湾は物価が低く、日本では高くても手に入らない物も台湾ではとても安く驚きました。ホテルから帰る時は地下鉄に乗りました。台湾の地下鉄は日本とは違い、切符のかわりにコインのような物を使います。このコインは何回も再利用ができるので、私は台湾のエコに対する思いが強いのだと思いました。

そして、三つ目に印象に残ったことは4日目に行った台北のおみやげ屋さんです。このお店のかたは日本語が上手く、日本では考えられないような商売の方法をおこなっていました。とても恐ろしかったです。

今回の国際交流研修では毎日驚くことばかりでしたが、全体を通して一番驚いたことは食事です。台湾ではお茶を飲む習慣があり、お茶はとてもおいしかったのですが、食べ物は、シナモンのような味がとても斬新でした。

私は今回の研修で初めて海外に行き、日本には無いさまざまなものを得ることができました。

その事を今後の学校生活だけでなく、生活にも生かしていきたいです。

☆学校交流☆

学校交流では、日本でいう高校・専門学校の
一貫校である樹人醫護管理専科学校、同年代で
ある大栄中学校の2校と交流をおこなってきま
した。



樹人醫護管理専科学校と貯金箱づくり



大栄中学校と卓球で交流



最初は緊張した
けどだいに打
ち解け、国境、
言語を超えた交
流ができました
！

国際交流の会 冬季ホームステイ 2名来町

1月31日から2月4日の5日間、和寒町国際交流の会が実施し
ている冬季ホームステイ受入事業に、北海道大学に通う劉佩蓉さ
ん（台湾）と劉子瑜さん（中国）の2名が参加しました。

劉さん達はスキー体験、極寒フェスティバルへ参加、2月3日
には吹雪のなか越冬キャベツの収穫を体験、和寒の魅力を感じ
それぞれのホームステイ先で充実した日々を過ごしました。



大瀬忠勇さん(三和)の
ほ場で越冬キャベツの
収穫体験

